



紫陽花の八重咲く如く弥つ代にを

いませわが背子見つつ偲ばむ

万葉集の歌 作者 橘 諸兄

この時季に紫陽花の美しい寺が那珂市にもあります。水戸市との境近くの清水寺です。

周辺は清水洞の上公園と呼ばれ、豊かな湧水が小川になって流れ出し、夏になれば蛍が飛び交うのです。十年前から、地元の有志の方々の並々ならぬ努力により一帯を整備し、地区の宝として大切に守り続けています。

この「清水洞の上自然を守る会」のメンバーに、我ががま研の清水泰清顧問がおります。広くて

樹木が多い公園の内外で、目覚ましいボランティア活動が続けられています。除草作業、遊歩道整備、池の管



那珂市の名所「清水洞の上公園」

小森友子



「あじさいの花が色とりどりに咲くよう語に訳してみました。」

昨年(2018年)に続き、今年も七月七日に「ほたる鑑賞会」が開かれました。夕暮れを待つて、なんと千三百人も人が訪れにぎわいました。私のお茶のグループは、お茶席を設けて地元自治会の女性部と一緒に、主役のホタルに負けじと会を盛り上げました。お菓子付きの抹茶が無料でふるまわれて、二百人分のお茶が二時間ほどで終了となり嬉しう悲鳴でした。



ホタルを待ちながら賑わうお茶席

さらに園内で羽化したオオムラサキを見て皆で感動。用意された笹竹には、七夕の願い事が書かれた短冊が、ぎっしりと下げられ、来園の皆さんが楽しんでくれた事が良くわかりました。さて、冒頭の万葉集の歌に戻り、現代語に訳してみました。

理、草花の手入れなど肉体労働が多々あるようですが、そのお陰でサクラ・アジサイ・カキツバタ・カンゾウ等の花やホタルを楽しみむことが出来、地域住民を始め広く市民からも、とても喜ばれ感謝されています。

に、幾年もお元気でいてください、あなた様は。私は花を見ながらあなた様をお慕いいたします。千年以上も昔の男性が詠んだ紫陽花の歌を借りて、がま研会員の皆さまのご健勝とご活躍を祈念いたします。(水戸教室)

H30 年度 がま口上講座

開催日 ① 9月29日(土)
 ② 10月13日(土)
 ③ 10月27日(土)
 ④ 11月10日(土)

時間：午前10時～正午
 場所：土浦市立 小町の館
 募集：30名
 受講料：無料

*興味をお持ちの方がおられましたら是非お誘いください。

H30 忘年会のお誘い

期日：11月17日(土)～18日(日)
 宿泊先：阿字ヶ浦 丸徳旅館
 会費：11,000円
 集合：現地(但し15名以上で新治商工会 Pへへの送迎あり)
 申し込み：各支部代表または林会長
 申込期限：10月20日(土)まで

※詳しくは、案内通知でご確認ください。

『チーム鹿行』で大活躍

満を持して華やかなデビューを飾り、その後も活動の場を広げる小町塾所属、笹本仁子さんの奮戦記！

がま口上に会って

笹本 仁子

「笹本さん、来年のあやめ祭りですがま口上やりなよ。」と、昨年のおあやめ祭りで言われました。私はそれまで、あやめ祭りの湯茶接待所で、潮来や鹿島の昔話を語るお話ボランティアをしていました。声をかけてくださったのは、私が練習会に参加していることを知った湯茶接待所のボランティアの方でした。

私とがま口上との出会いは、「がま口上講習会」の案内を見つけた友人に誘われて、受講させていただいたことがきっかけです。が、友人二人は、講習会終了と共に卒業してしまいました。私は一人になってしまいました。が、卒業する気にはなれず、がまの油売り口上研究会に入会させていただき、小町塾の会員になりました。

月に一度の練習会に参加するようになり、家で口上の練習をしていると、元氣だった父が喜んで聞いてくれました。その父が、平成二十七年三月二十七日トラクターの下敷きになって大怪我をし、ドクターヘリで運ばれて入院、二度の手術をしました。死を覚悟しましたが、その年の八月誕生予

定の男曾孫と散歩をしたいという父の強い思いから、リハビリ専門の病院に転院することが出来ました。順調に回復していたように見えたのですが、最初の怪我が大きかったもので、八カ月後に帰らぬ人となりました。心が晴れないまま葬儀・法要・法事と続き、父の怪我の前には自分の入院・手術もあって、四年近く休んでしまいました。昨年三月の定年退職を機に、練習会に復帰させていただきました。「来年のあやめ祭りデビュー



「チーム鹿行」皆さんの雄姿



ーするつもりです。」と練習会で発言してからは、垂れ幕や小道具を作り、衣装を揃えて準備を進めてきました。今年に入り、人前で演じる機会を三回ほど設けていただき、その後、古河の桃祭り・風土記の丘の桜まつりにも参加させていただきました。小町塾の諸先輩方の丁寧な指導と励ましのお言葉、ありがとうございました。

デビューの水郷潮来あやめ祭り会場は、大門河岸公園、無料の湯茶接待所の一角です。お客様にはテントの中で、日差しも雨も気にせず、お茶を飲みながら見ていただけるので、お客様にとっても演じる私にとってもやりやすい会場でした。メインイベントである嫁入り舟の時間とのかねあい、日曜日ごとに四回（十時・十一時半・十三時・十四時半）公演させていただきました。6週続けの公演は、一人では不安もありますが、南京玉すだれの濱良枝さん、



「がまの油があるなら買いたい。」というお客様や「元氣なら来年も来るから、来年も又やってよね！」と声をかけてくださるお客様もいました。潮来在住の私は地元でのデビューとなりましたが、意外にも地元以外のお客様が多く気が楽でした。

まだまだ半人前の私ですが、お客様の熱い視線と拍手喝采を浴び、病みつきになり、自分やめられそうにありません。あやめ祭りは終わりましたが、幸いなことに老人施設や地区の夏祭り等から声がかかり、その後も披露する機会を得ています。

原野商法という言葉を出したのは、旧友 T 君から「俺、親族から北海道の土地を貰ったんで一度見てみたいから付き合わないか?」と誘われ、野次馬兼観光気分で行ったからです。

場所は、北海道標茶町。なんと、釧路湿原に近い典型的な原野商法の表舞台だ。折角だから雨のない時期にと、七月二日〜五日で視察旅行をした。雨の無い時期の筈が、我々の行いのせいか四日間とも雨続きに。

初日は標茶町の役場に行き、登記簿にある場所の確認をして、町の係員より現在の状況などを聞いた。場所は釧路市より三十 km 余りで塘路湖という湖のほとり。国道より車で五分程山道を進むと、片側は山地であとは坂を下り平地になり一区画 1 ha の二区画 20 ha が彼の持分であった。山には雑木が繁り平地は草が生えていた。航空写真を見ると大体の区画はわかるが、杭があるわけでもなく実際の境界線は分からない。

さて、この土地をどうするか。彼の亡き親族は恐らく数百万円を投じた筈だが彼は殆ど無償で手に入れた。しかしこれから毎年数千円の固定資産税を払い続けることになる。この状況では何の価値も無い。係員の話では町に寄付する地主もいるという。翌日、町の係員に紹介された標茶町森林組合を訪ねて土地の利用、又は処分方法を相談したが、組合長の話では標茶町は道内でも区域が

原野商法の現場

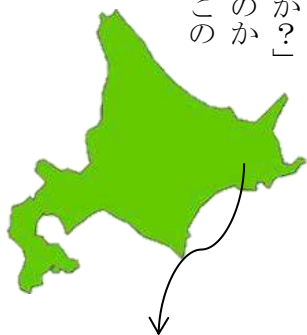
丸山 義雄

原野商法 この言葉は昭和の時代よく耳にした言葉です。田中角栄首相の日本列島改造論が契機となって、日本中が土地ブームに沸いた時代のあだ花。価値のない土地、原野を様々な美辞麗句で飾り立て高値で販売する詐欺商法です。

広い町で、こういう土地が無数にあるという。連絡の取れない地主も多く組合としても困るので、東京・大阪・名古屋などの大都市で、こうした原野商法の被害者に対する相談会を開いているとのこと。幸い、彼の土地は登記簿で確認すると同組合の管理する山地に隣接しており、他人の土地を通らずに山に入れるので、現在計画しているエゾマツの植林事業に組み込む事は可能とのこと。しかし、土地代は m 三円、坪十円。しかも平地の部分は川があるので五〜六 ha は無価値という。山に入る国道沿いは航空写真で見ると黄色に染まっていた。これは百坪単位で区画分譲された土地で組合では手が付けられないという。

標茶町は温泉が出て、泊まった宿は十人位は入れる浴槽が六つもあり、源泉かけ流しの贅沢なものだった。この時期は気候も景色も申し分なく快適でしたが、冬場はどんな感じだろうか。原野商法の売り手は、「温泉は出る、塘路湖でカヌー遊びはできる、冬はワカサギ釣りもできますよ。別荘にどうですか?」などと勧誘したのかなーと思った。この様な場所で、札幌が乱れ飛んだ時期が有った時期が出来ない。

たなど想像も出来ない。



弟子屈方面



釧路方面



↑白線内がT君の所有地

「潮来花嫁さん」や「潮来の伊太郎」を知らない若者が増えているこの頃ですが、魅力度ランキング最下位の汚名返上に、潮来の知名度アップに一役買えば幸いです。父に披露できなかった分、地元の皆様に見ていただき、元気を出して楽しんでいただけるよう、これからも活動していきたいと思えます。



「宝篋山」署名にご協力ください

佐藤 貞 弘

地元は勿論、県外からも多くの人々に親しまれている「宝篋山」なのに、その名前が地図に載っていません。このことは「かわら版第 26 号（平成 25 年 3 月）土浦市で一番高い山・宝篋山」の中で紹介したところですが、この度、筑波山地域ジオパーク推進協議会が地名表記申請にかかる署名活動を始めました。「宝篋山」を日本を代表する地図（二万五千分一地形図）に表記し、地域の宝として後世に伝えるため、是非署名にご協力をお願いします。

署名はメールにて受付：e-mail geo298@city.tsukuba.lg.jp

① メールの題名「宝篋山署名」

② 本文に(1)名前、(2)住所 を記入して上記のアドレスまで送信する。

※詳しくはホームページ [筑波山地域ジオパーク](#)を検索 ⇒ [イベント情報](#)

をスクロールし、[地図にのせようあなたの好きな宝篋山](#)をクリック。



今年も元気に歩きました

「筑波山の神の源郷を訪ねて」

「今年で最後だよ！」と念を押されながら、講師の井坂敦實先生の案内で廻った筑波路。会員も負けずに年を重ねる中、知恵と工夫で楽しく筑波山周辺の歴史を訪ねることが出来ました。

上がる息 背なの人形も 不安顔

一句ひねってみました。

六所神社奥の宮山に向かう一行。↓



↑飯名神社に集合。まずは境内の落葉掃きからスタートする心意気。足取りも軽く…。

解散後は、希望者のみ稲葉酒造酒蔵にて利き酒や麴アイスを楽しみました。

編集後記

命に係わるような、という形容が当たり前に報じられた今夏の暑さ。皆様は大丈夫でらっしゃいましたか？蚊帳とうちわで過ごせた一昔前の夏は、何処へ。二年後に東京で戦うアスリートやボランティア、応援の市民の事が、はや心配になります。

熱中症の予防に欠かせない水分ですが、スポーツドリンクやアルコール飲料に偏ることが無いようにご注意ください。糖分の取りすぎや、利尿作用が増すことによる新たな健康不安に注意が必要です。お勧めはクエン酸と天然塩です。梅干し茶漬けなど、理にかなった夏の食事かもしれません。

今回のご寄稿にあった原野商法、我が父もご多分に漏れず『買う 買う！』と大騒ぎ。家庭内に嵐が吹き荒れたことを思い出しました。

『この原野の値打ちがわかったら遠慮は無用だ。早い者勝ちだよ、買った！ 買った！』の勢いに乗った人も多かったのでしょう。土地神話が信じられた時代でした。

今夏は、ためらうことなくクーラーのスイッチを入れて（テレビやラジオが常に訴えていた）食欲全開・夏バテ無縁・雑草放置。勿論、体重減など関係なしでありました。

次号の原稿を、お待ちしております。二月末を目途にご投稿をお願い致します。

e-mail tgod6474@i-next.ne.jp

編集子

